

平成 26 年度 全国学力学習状況調査の結果分析と改善策

国語(A・B)、算数(A・B)ともに、平均正答率が全国を越えています。個人差がみられる問題もありました。



国語

<p>国語 A 結果分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読みは良かったが、書くことができにくかった。また、読み方の同じ漢字でも、意味が違ふとき、正しいものを選べなかった。 ・故事成語「五十歩百歩」の意味は全員できたが、「百聞は一見に如かず」は半分の子しかできなかった。 ・「～たり～たり」はできたが、文の意味から考えて接続語を選んだり、主語を選んだりすることができていない子がいた。 ・文の書き方の特徴を選ぶ問題は、できない子もいた。
<p>国語 B 結果分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業文集の制作についての7人での討論会の問題（2ページ） <ul style="list-style-type: none"> ・誰がどんな主張をしているか、誰と誰が同じ考えなのかが読み取れていない子がいた。 ・自分の意見を条件に沿って書くことができない子が、半分以上いた。 ○2人の子が校外学習を元に、科学読み物を読み、まとめる問題（4ページ） <ul style="list-style-type: none"> ・3つの条件を指定された文字数でまとめることや、例を見ながら条件に沿ってまとめることができなかった。 ○2つの詩を元にグループ交流会をしている問題（4ページ） <ul style="list-style-type: none"> ・詩が2つある上に、それを元に交流会をしているという問題なので、どの設問も正答率が低かった。 ・条件に合わせて自分の考えを書く問題はあまりできなかった。 ○問題が複合的なので、短時間で読み取ることがとても難しかったようである。 ○問題のつくりも、左右、上下、矢印で指示など多用であったので、問題を読むことやその答えがどのあたりにあるかを見付けることも、大変であったようだ。 ○たくさんの字を読むことやまとめて書くが多かったため、子どもの中には、あきらめているような子も何人かいた。あきらめずに時間いっぱいがんばる姿勢や、試行錯誤しながらも解こうとする意欲が低い。
<p>改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○これから出る新出漢字については、ドリルとミニテストを繰り返し定着を図りたい。また、漢字を使った熟語や使い方もあわせて学習していきたい。これまでの漢字については、復習を始める。 ○四字熟語、ことわざ、慣用句などを覚えさせる。 ○学習をするとき国語辞典を身近においておき、分からない言葉がでたら、「自分で調べる、すぐに調べる」という癖をつけさせたい。 ○キーワードを見付けたり、字数などの条件をつけてまとめたりする学習活動を授業中に増やす。 ○作文を書く機会を増やし、「主語述語がずれないように見直す癖をつけること」や、「一文には、主述が一つになるように書くこと」、「文と文の間には接続語を入れて文章整えること」などを指導していく。 ○とにかく、本を読むよう声かけをする。隙間の時間や週末読書に力をいれる。

算数

<p>算数 A 結果分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算は良くできていた。しかし、(繰り下がりのある整数—小数)の問題を、半分の子ができなかった。 ・テープ図の問題では、もとにする数より比べる数大きいときは、式を求めることができたが、もとにする数より比べる数の方が小さいと、式に表せなかった。 ・単位の式、円周の長さを求める式、体積を求める、平行四辺形の作図法などはほとんどの子ができていた。 ・四角柱を見て、ある面のたて・横の長さに気づくことや、文字式からその意味を導いたり、文字式に表したりすることのできない子が多かった。
<p>算数 B 結果分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「$37 \times \square$」を元に、答えを説明する問題 <ul style="list-style-type: none"> ・式と言葉を使って、例にならって説明する問題では、できない子もいた。 ○「水の使用量」をグラフにする問題 <ul style="list-style-type: none"> ・グラフがかけない理由を数字と言葉で書くことや、グラフの利用が難しかったようだ。 ○宿泊学習を元にした問題 <ul style="list-style-type: none"> ・時間の操作を考える、ご飯の分け方の条件を表した図を選ぶ、スープの分け方を修正する理由を言葉と数字で書くなど、数字の量感が伴わないとできない問題は正答率が低かった。 ○楽譜、畳、お箸などの問題 <ul style="list-style-type: none"> ・公倍数、条件のある図形(長方形)の敷き詰め、1.5倍の図を選ぶ、それをもとにした百分率の問題であったが、問題の素材がめずらしいので、むずかしいという先入観を持ったようだ。 ・言葉と数字で説明する問題が多く、時間がかかった。
<p>改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○計算練習、いろいろな問題の載ったプリント学習を今後も継続していく。間違ったところはその日のうちに必ずやり直しをすることを徹底する。 ○公式や定理などのキーワードを掲示し、ふり返りをさせる。 ○考え方の元になるテープ図、数直線、面積図、線分図などをもちいて学習をおこない、これらを使って考えられるようにする。 ○整数・小数・分数の関係、単位の換算、実際のをイメージして考えることなどを苦手とする子が多いので、授業中は意識してこれらを行い、算数はただの数字の学習ではなく、自分の身近にあるものだということを感じさせたい。 ○いろいろな単元の復習をはじめ

学校と家庭との両輪で取り組んでいきましょう！
ご協力、よろしくお願いします！！

